

No.8 マンモスの臼歯

キーワード >>> 新生代、歯の形態と食性、体のつくり など

fossil data *Mammuthus primigenius* [時代] 新生代第四紀・更新世 [産地] メキシコ湾

マンモスについて

マンモスは「ゾウ目-ゾウ科」に属するマンモス属の種の総称です。アジアゾウやアフリカゾウと似ていますが、マンモスはこれらのゾウの直接の祖先ではありません。マンモスと現生のゾウは、いわば親戚のような関係にあります。(No.9の資料を参照)。

マンモス属は約500~400万年前にアフリカに出現した後、ユーラシア、北アメリカへと進出していきました。いまのところ5種が知られていますが、約1万年前※に全て絶滅したといわれています。

※諸説あります。



※イメージです。地図は現在のものです。

これが、歯…?

マンモスの歯の形は、ヒトとは大きく異なっています。ゾウの歯を見てみましょう。

小判のようなものが見えますね。これがゾウ



の歯(臼歯)です。マンモスを含むゾウの歯は、下の写真のような構造をしています。



マンモスの臼歯
(御船町恐竜博物館 所蔵)



エナメル質が板状になっている。セメント質で結合されている。

(◀…エナメル質)

生え変わり方もヒトと異なります。ヒトの場合は乳歯が抜けると下から永久歯が生えてくる「垂直交換」ですが、ゾウの場合は「水平交換」。後ろから前へ新しい臼歯が出てきて、古い歯が交換されます。